

す

く

す

く

88号



東京都済生会中央病院附属乳児院 2024年度 第3号 2024. 10. 1発行  
東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 岡尾 良一

驚くような夏の暑さもやっと過ぎ、少しずつ秋を感じることができるようになりましたが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。子どもたちも職員も体調が心配でしたが、幸いなことに熱中症らしき症状もなく、無事に過ごすことができました。

今年の夏は、多くのイベントを行うことができました。潮干狩りでは、波打ち際での遊びやくらげなど海の生き物を近くで見ることができました。また、花火大会では、大きな音やまぶしい光に最初は驚いていましたが、最後は手持ち花火を職員と一緒に持ちながら楽しんでいた姿が印象的でした。そして、初めての行事もありました。それは、若洲海浜公園でのバーベキューです。火おこしや鉄板での調理に興味津々で、いつもの焼きそばも外で食べるとさらに美味しく、たくさんおかわりをしていました。職員と一緒に笑いながらあっという間の楽しい時間を過ごせました。

皆様のご支援を受けてのイベントもありました。ご寄付の大きなスイカで毎年恒例のスイカ割りや、ユニクロ様からご厚意のお洋服でお買い物会、戸板女子短期大学の皆様との手作りおやつ会など、子どもたちの貴重な体験と楽しい夏の思い出になりました。

皆様の乳児院へのご支援を心から感謝申し上げます。今後も、子どもたちのことを温かく見守っていただきたく、よろしく願いいたします。

理学療法士 新井 保久



理 念

「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。  
（「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に医療・福祉を差し伸べることです）

基 本 方 針

「子どもニーズ 子どもファースト」

私たちは、常に子どものことを第一に考え、子どもの目線に立ち、子どもの気持ちの代弁者として実践し、一人ひとりの子どもの最善の利益を追求していきます。

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てていきます。
3. 感動や成功体験を通し、子どもの自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。



## 夏のえんそく ～潮干持ち～

7月にバスに乗ってお台場海浜公園へ遠足に行ってきました。大きな海に最初は緊張気味な姿もありましたが、慣れてくると海に入り大人の手をぐいぐい引いて探索を楽しむ姿もありました。カニやクラゲなど、身近な海の生き物にも触れることができました。午後は室内遊び場でボールプールやトランポリン、おままごと等好きな遊びを楽しんだり、アイスを食べたり、暑い日でしたが、無理なく過ごすことができました。素敵な思い出になったようで、帰院後も「カニさんいたよ」「バスに乗って行ったの」と毎日思い出話に花を咲かせています。



保育士 柳 杏奈

## 夏まつり

7月19日に夏祭り会を開催しました。会場にはお面屋さんやボーリング屋さんなど様々な出店が並び、子どもたちは甚平やはっぴを着て楽しみました。出店の中でも特に子どもたちに人気だったのは宝探し屋さんです。宝物が隠れたボールプールをそっと覗き込む子や、プールの中で微かにピカピカと光る場所へ手を伸ばしてみる子など様々な子どもたちの姿が見られました。見事に宝物であるピカピカと光るおもちゃを見つけ、景品として受け取りました。どの子ども達もおもちゃがピカピカと光る様子を興味津々にじっと見つめ、大事そうに握っていました。おやつの中にはふわふわと甘い鈴カステラを食べ、五感で夏の雰囲気を楽しむ1日となりました。

保育士 田村 友菜



## 花火大会

8月の夕方、院庭で花火大会をしました。子どもたちは、噴上げ花火の音に驚きながらも「すごい、きれい、(色が)いっぱい」と興奮していました。手持ち花火に参加する際には「大人と一緒に(持ちます)」、「アッチッチだから触りません」と呪文のように『お約束』を繰り返しながら配られるのを待ち、いざ花火に火が点くと「きれい」と目を輝かせていました。手持ち花火の楽しさに魅了され、「もう1回」と何本も楽しんでいた子が、お友だちが1度もやってないと気づき、「どうぞ、怖くないよ」と声を掛け誘っていました。興奮して楽しんでいる中でもちゃんとお友だちのことも気にかける2歳児に感動した一夜でした。怖くて遠くから見ていた子も、数日後、「大きな音びっくりしたの。(音が出ない)花火またやろうね」と楽しそうに話していました。

保育士 岡村 理恵





## 各居室の子どもたちの日々のエピソードをお届けします



### たんぽぽ

遠足や行事で撮った写真はアルバムにしてお部屋に置いています。大好きな職員を探して「〇〇さんいたよ！見て！」と話す A くんや「また一緒に行きたいな」と期待する B ちゃん。遊びの中でも遠足ごっこが流行っています。一冊から始まったアルバムが今では 3 冊になりました。これからも沢山思い出を作っていきたいです。

保育士 長縄 友里



### ひまわり

水遊びが大好きなひまわりの子どもたち。じょうろから出てくる水を指差して、「あめ！」と嬉しそうに教えてくれます。水遊びが待ち遠しいようで、お外の天気を見ては、朝食の時に「今日はプールする？」と尋ねてきます。水と触れ合う体験を通して楽しさや心地よさを感じています。いろいろな感情をもつことで感性を磨き、想像力を高めていきたいと思っています。

保育士 植田 美月



### こすもす

水遊びが大好きな A くんはプールに入ると水しぶきを立てて大喜びで遊び始めます。それを見た B ちゃんは「わー！」と A くんのお真似をしながら一緒になって水しぶきを立てて楽しんでいます。二人の様子を見て周りのお友だちにも笑顔が広がっています。

保育士 栗原 ゆり佳



### ちゅーりっぷ・さくら

夏になりテラスでの水遊びが始まりました。乳児は初めての水遊びで水着姿がとっても可愛いです。玩具のジョーロで水をかけたり、プールの水面を手で叩いて水しぶきを上げたり、顔に水がかかっても全然平気な様で、とっても楽しそうにパシャパシャ遊んで夏を楽しんでいます。季節ごとの思い出をたくさん作っていきたいです。

看護師 尾島 いづみ



# あたたかなご支援をありがとうございます

## お買い物会

ユニクロ様

夏の衣類でお買い物会を開催していただきました。



## ヘアカット

長岡様

子ども達のヘアカットをしていただいています。



## おやつ会

戸板女子短期大学様

子どもたちと手作りおやつでベビーカステラを作りました。



## スイカ割り

佐藤様

長年に渡り、毎年スイカのご寄付をいただいています。



## おそうじ

アツヴィ合同会社様

乳児院外観のお掃除をしていただきました。



## 支援室だより

支援室では、今年度、新たに2名の社会福祉士が加わり、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、臨床心理士と一丸となり、お子さんとご家族、地域の皆様への支援を行っています。

里親支援相談専門員は、年間3~5家庭の顔合わせから交流、委託、退所後の支援をしています。また、これから里親になられようとしている方々の施設実習や研修、地域のお子さんを含めた里親家庭の訪問など、安心して生活が送れるよう継続した支援を行っています。

育児に困ったときや悩んだとき、ひとりで抱え込むのではなく、乳児院にお越しく下さい。いつでもお待ちしております。

里親支援専門相談員 赤穂 真由美

### 【0~3 歳児の育児にお困りの方へ】

当院では育児相談を平日 9~16 時に受け付けています。担当 看護師長 小泉

### 【寄付金について】

当院では子どもたちの養育環境整備のため寄付金を募っています。担当 事務 竹田  
上記について詳しくは右記までご連絡ください。Tel 03-3451-8289 (直通)

「すくすく 第88号」2024.10.1 発行

〈発行人〉 岡尾 良一 〈編集委員〉 小泉菜穂子 峯越雅子 桑原智恵 佐藤沙紀 大野華 須藤多笑